

## 第 59 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第59回日本神経学会学術大会  
大会長 佐々木 秀直

### 開 催 概 要

1. 学術大会会期：2018（平成 30）年 5 月 23 日（水）～ 26 日（土）  
「神経疾患の克服を目指して」をテーマとして、上記日程で開催致します。
2. 学術大会会場：ロイトン札幌  
〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 11 丁目  
さっぽろ芸術文化の館  
〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 12 丁目  
札幌市教育文化会館  
〒 060-0001 札幌市中央区北 1 条西 13 丁目
3. 事前参加登録：2018 年 2 月中旬開始予定  
※事前参加登録はすべてオンラインにより登録を行います。  
※日本神経学会第 11 回専門医育成教育セミナー、第 15 回生涯教育セミナー「レクチャー」「Hands-on」、  
第 5 回メディカルスタッフ教育セミナー、及び教育コースもオンラインによる事前登録制とする予定  
です。  
※詳細は追ってホームページでご案内いたします。 (<http://www.neurology-jp.org/neuro2018/>)
4. 参加費：

		事前	当日
会 員	正会員	15,000 円	18,000 円
	研修医会員	3,000 円	3,000 円
	学生会員（大学院生） ※ 1	—	3,000 円
	学生会員（学部学生） ※ 2	—	無料
	メディカルスタッフ会員	3,000 円	3,000 円
	外国人会員	—	3,000 円

		事前	当日
非 会 員 ※6	非会員（医師）	18,000 円	21,000 円
	非会員（企業）	18,000 円	21,000 円
	非会員（その他）	18,000 円	21,000 円
	メディカルスタッフ ※ 3	8,000 円	8,000 円
	大学院生・初期研修医 ※ 4	3,000 円	3,000 円
	海外参加者	—	3,000 円
	海外 Travel Grant 受賞者 ※ 5	—	3,000 円
	学部学生・日本滞在中の 外国人留学生 ※ 2	—	無料
	メディカルスタッフ教育セミナー のみの参加（5 月 26 日（土））	1,000 円	1,000 円

- ※ 1 大学院生で正会員になられている方は、必ず「正会員」の料金で事前参加登録をお願いいたします。学生会員枠には当てはまりませんのでご注意ください。
- ※ 2 学部学生・日本滞在中の外国人留学生は事前に登録する必要はございません。  
学部学生・日本滞在中の外国人留学生の方は、会員、非会員にかかわらず、学会当日、受付窓口にて「ID」をご提示ください。
- ※ 3 医師以外の医療介護福祉関係者、非会員のメディカルスタッフの方は学会当日、受付窓口にて、「メディカルスタッフ証明書」をご提出ください。  
(「メディカルスタッフ証明書」は上記よりダウンロードしてください。書式が2種類ありますが、どちらか可能な一方をご提出ください(両方ご提出いただく必要はありません。))
- ※ 4 非会員の大学院生の方は学会当日、受付窓口にて「大学院証明書」をご提出ください。  
(「大学院生証明書」は上記よりダウンロードしてください。)  
非会員の初期研修医の方は学会当日、受付窓口にて、「初期研修医証明書」をご提出ください。  
(「初期研修医証明書」は上記よりダウンロードしてください。)
- ※ 5 海外 Travel Grant を受賞された方が対象です。
- ※ 6 非会員の参加費は税込(8%)です。

< Travel Grant について >

- ◎ 下記の方を対象に、Travel Grant を支給いたします。
  - ・ 海外の神経内科医および研修医(国ごとに上限金額が異なり、査読結果によって金額が決まります。)
  - ・ 日本に留学中の神経内科医および研修医(往復交通費実費程度を支給予定。上限あり)
- ◎ ご登録いただいた抄録を審査の上、対象者を決定いたします。
- ◎ 年齢制限はございません。
- ◎ 対象の演題を会場で発表することが支給の条件となります。代理受け取りや、ポスターを貼るだけ、という場合は Grant 支給の対象となりませんのでご注意ください。
- ※ 詳細はホームページをご覧ください。  
(<http://www.neurology-jp.org/neuro2018/en/abstract/awards.html>)

5. 医学生・初期研修医セッション：

医学生・初期研修医及びレジデントの先生方にご発表いただき、優秀な演題については表彰を行います。詳細は、ホームページをご確認ください。  
(<http://www.neurology-jp.org/neuro2018/abstract/igakusei.html>)

6. メディカルスタッフポスターセッション：

神経内科に関連するメディカルスタッフの方にご発表いただき、優秀な演題については表彰を行います。詳細は、ホームページをご確認ください。( [http://www.neurology-jp.org/neuro2018/abstract/medical\\_staff.html](http://www.neurology-jp.org/neuro2018/abstract/medical_staff.html) )

7. レジデントクリニカルトーナメント

『めざせ神経内科専門医試験合格！ H-1 レジデントクリニカルトーナメント』

第 59 回大会では、神経内科専門医受験前の後期研修医などの先生を対象としたチーム対抗クイズ大会を企画しております。各施設のエントリーに制限はなく、複数施設にまたがるチーム編成も可能です。参加チーム募集期間：2017 年 12 月 1 日(金)～2018 年 4 月 27 日(金)

URL：<http://www.neurology-jp.org/neuro2018/program/tournament.html>

多数のチームの御応募をお待ちしております。

8. 託児所：会期中に託児所をご用意いたします。お申し込み方法などにつきましては、追ってホームページでご案内いたします。( <http://www.neurology-jp.org/neuro2018/> )

9. お問い合わせ

【大会長校事務局】

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学  
〒060-8638 北海道札幌市北区北15条西7丁目

## 【日本神経学会事務局】

〒113-0034 東京都文京区湯島二丁目31番21号一丸ビル

TEL : 03-3815-1080 FAX : 03-3815-1931

## 【第59回学術大会運営事務局】

〒102-0075 東京都千代田区三番町2 株式会社コンベンションリンケージ内

TEL : 03-3263-8688 FAX : 03-3263-8693

E-mail : neuro2018@c-linkage.co.jp

## 各種企画のお知らせ

## ☐…英語セッション

1. 大会長講演 (5月24日(木)午後 予定)  
佐々木 秀直  
(北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野神経内科学 教授)
2. Plenary Lecture (5月23日(水)午後 予定) ☐  
「Meeting the Dementia Challenge in the UK」  
Martin Rossor, M.D. FRCP FMedSci  
(NIHR National Director of Dementia Research, The UCL Institute of Neurology, UK)
3. Semi-Plenary Lecture (5月24日(木)午後 予定) ☐  
「Taming the beast: update on therapies in the pipeline for MSA」  
Gregor K. Wenning, M.D., Ph.D. MSc  
(Chair Division of Neurobiology, Innsbruck Medical University, Austria)
4. 特別講演1 (5月25日(金)午後 予定)  
「HIVの治療薬開発(仮題)」  
満屋 裕明  
(国立研究開発法人 国立国際医療研究センター研究所 所長)
5. 特別講演2 (5月25日(金)午後 予定)  
「日本神経学会設立から116年—歴史を学び未来に生かす」  
葛原 茂樹  
(鈴鹿医療科学大学看護学部看護学科 教授)
6. 日本神経学会2016年度学会賞・榎林賞受賞者招待講演 (5月25日(金)午後 予定)  
2016年度学会賞(学術研究部門): 船山 学(順天堂大学大学院医学研究科老人性疾患病態・治療研究センター)  
2016年度榎林賞: 若林 孝一(弘前大学大学院医学研究科脳神経病理学講座)
7. 日本神経学会2017年度学会賞・榎林賞受賞者招待講演 (5月24日(木)午後 予定)  
2017年度学会賞(学術研究部門): 宮武 聡子(横浜市立大学附属病院遺伝子診療部)  
2017年度学会賞(診療部門): 吉良 潤一(九州大学大学院医学研究院脳神経病研究施設神経内科学)  
2017年度学会賞(診療部門): 楠 進(近畿大学医学部神経内科)  
2017年度榎林賞: 服部 信孝(順天堂大学大学院医学研究科神経学)
8. East Asian Neurology Forum 関連プログラム (5月23日(水)午前・午後 予定) ☐
9. Neuroscience Frontier Symposium/ ホットトピックス/ 神経疾患の克服を目指して/ ガイドラインコース/ シンポジウム等 (予定)  
5月23日(水)午前  
・筋炎の最前線  
・How neurons keep calm and carry on: roles of quality control in neurodegenerative diseases ☐  
・認知症大規模共同体研究 ☐  
・痙性対麻痺: up to date  
・ALSの病態関連分子と治療開発の展望

### 5月23日(水)午後

- ・我々は、ALSを、早期に診断し、正確に経過を追うことができるのか？
- ・改訂てんかんガイドライン
- ・自己免疫性脳炎の臨床スペクトラムの拡がり
- ・脳梗塞急性期医療
- ・Nucleic acid therapeutics (ついに実現した神経変性疾患の核酸医薬) [E]
- ・Research frontline of hereditary cerebellar ataxias (遺伝性小脳失調症の病態研究フロンティア) [E]

### 5月24日(木)午前

- ・パーキンソン病認知症の発症予測
- ・行政のキーパーソンに聞く、これからの医学臨床・教育・研究
- ・脳虚血病態の基礎から translational research へ
- ・ミオクロノスの最近の知見
- ・難病法下における難病医療提供体制～神経内科医のミッション～
- ・New approach to the cerebral small vessel disease (脳小血管病のこれからの展開) [E]
- ・Current topics in acute encephalitis update—advance in diagnosis and treatment of autoimmune encephalitis [E]
- ・神経内科医が知っておくべき代謝性神経疾患 = 保険治療の最前線 =

### 5月24日(木)午後

- ・認知症臨床の最前線
- ・Intra- & into-the- brain propagation of  $\alpha$ -synuclein: significance for the pathogenesis, progression and therapeutic target of Lewy body diseases (Intra- & into-the- brain propagation of  $\alpha$ -synuclein : レビー小体病の発症・進展機序および治療標的としての重要性) [E]
- ・脳梗塞再発予防の最新の話
- ・シンポジウム：レジストリー・コホート研究が目指すもの—病態解明・創薬に向けて
- ・ヒトプリオン病の診断・治療法開発の新展開
- ・GBS,CIDP 研究の最前線—分子基盤から疫学まで—
- ・To pursue the best treatment of MG (重症筋無力症のベストな治療をめざして) [E]
- ・Toward the early diagnosis and treatment of Progressive Supranuclear Palsy (進行性核上性麻痺の早期診断・早期治療をめざして) [E]

### 5月25日(金)午前

- ・遺伝性ジストニア—update
- ・ノンコーディング RNA が関わる ALS や SCA に共通する新たな神経変性メカニズム
- ・超急性期脳卒中, 時短最前線
- ・神経内科医が知っておくべきゲノム医療の最先端
- ・神経内科医の燃え尽き症候群を防ぐために～バーンアウトしないための Tips をシェアしよう～
- ・スポーツ神経学の現状と将来展望～基礎から臨床まで～
- ・New frontier of epileptogenicity: translatability between basic and clinical fields (てんかん病態の新知見：基礎と臨床の translatability) [E]
- ・Pathological basis and therapeutic strategy for neuropsychiatric symptoms (神経内科が診る精神症状の病態基盤と治療戦略) [E]

### 5月25日(金)午後

- ・シンポジウム：ゲノムから孤発性神経疾患が解明できるか？
- ・機器をつかった機能再生と運動学習
- ・神経疾患の新薬開発・医師主導治験の最前線
- ・Charcot-Marie-Tooth 病の最新の診断と治療
- ・新しい中枢神経刺激治療法 現状と未来
- ・Cross-interaction of neuro-immune axis in autoimmune disorders of the CNS (中枢神経系自己免疫疾患における神経・免疫の相互作用) [E]
- ・アルツハイマー病最先端 [E]

5月26日(土)午前

- ・片頭痛の謎を解き明かす
- ・新たに確立された神経疾患：その臨床および病理像
- ・いま、Neuroimaging で見えるもの、見なければいけないもの
- ・パーキンソン病治療の Unmet Needs を考える
- ・神経難病の多職種連携～すぐに役立つケアを目指して～
- ・21世紀の女性医師の活躍促進～ポジティブに仕事を楽しもう！
- ・Gene & Cell Therapy for Neurological Diseases (神経疾患の遺伝子・細胞治療) [E]
- ・Prion-like phenomenon: From myth to reality [E]
- ・SCD・MSA 診療ガイドラインとその活用

5月26日(土)午後

- ・パーキンソン病の自律神経機能障害
- ・神経免疫難病のトランスレーショナルリサーチ：モデルから目指す創薬

10. レクチャーマラソン
11. 教育コース (事前登録制)
12. メディカルスタッフポスターセッション (5月25日(金)・26日(土) 予定)
13. 医学生・初期研修医セッション (5月26日(土) 予定)
14. 各種共催セミナー
15. 神経内科ウィーク (市民公開講座)
16. 日本神経学会主催セミナー (事前登録制)
  - ・第15回生涯教育セミナー「レクチャー」(5月23日(水)午前・26日(土)午後 予定)
  - ・第15回生涯教育セミナー「Hands-on」(5月23日(水)午前・26日(土)午後 予定)
  - ・第11回専門医育成教育セミナー (5月23日(水)午前・午後 予定)
  - ・第5回メディカルスタッフ教育セミナー (5月26日(土)午後 予定)
  - ・市民講座 (5月27日(日)午後 予定)

※プログラムの最新情報については、大会ウェブサイトをご確認ください。

以上